

作成日 2006年8月8日

作成者 中嶋

確認日 2004年7月10日

確認者 ○○○

① 建物概要

注1

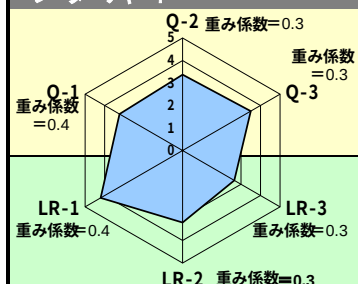
建物名称	(仮称) 左京区山端川原町計画			外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅			
建設地・気候区分	京都府京都市 地域区分IV			
地域・地区	商業地域、防火地域			
竣工年	2007年9月 予定	階数	地上7F	
敷地面積	1,557 m ²	構造	RC造	
建築面積	745 m ²	平均居住人員	160 人	
延床面積	3,640 m ²	年間使用時間	8,760 時間/年	

② 建築物の総合的な環境性能評価結果

注1, 2

②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性 (評価分野毎)

レーダーチャート



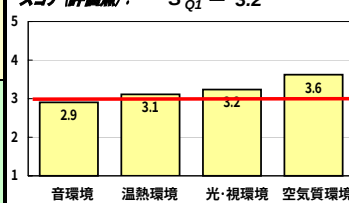
Q 建築物の環境品質・性能 (建築物の居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

スコア (評価点):

 $S_Q = 3.4$ ※ $S_Q = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3$

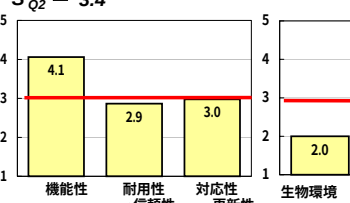
Q-1

スコア (評価点):

 $S_{Q1} = 3.2$ 

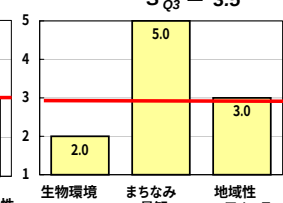
Q-2

スコア (評価点):

 $S_{Q2} = 3.4$ 

Q-3

スコア (評価点):

 $S_{Q3} = 3.5$ 

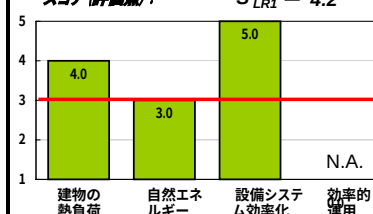
LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

スコア (評価点):

 $S_{LR} = 3.4$ ※ $S_{LR} = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$

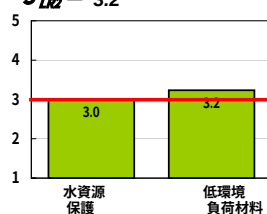
LR-1

スコア (評価点):

 $S_{LR1} = 4.2$ 

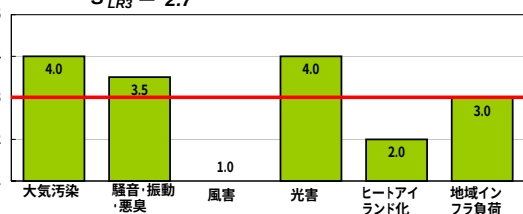
LR-2

スコア (評価点):

 $S_{LR2} = 3.2$ 

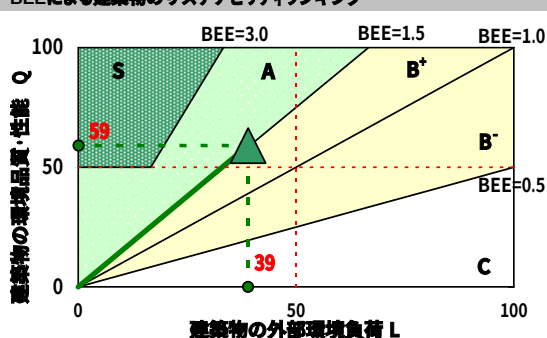
LR-3

スコア (評価点):

 $S_{LR3} = 2.7$ 

②-2 建築物の環境性能効率 (BEE: Building Environmental Efficiency)

BEEによる建築物のサステナビリティランキング



BEE =

建築物の環境品質・性能 Q
建築物の外部環境負荷 L

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{59}{39} = 1.5$$

Q = 25 * (S_Q - 1)*S_Q: Score of Q category

SQ = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3

L = 25 * (5 - S_{LR})*S_{LR}: Score of LR category

SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	10	20	30	40	50%
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²						
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²						
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目	
設計段階	
1 有資格者による設計	
建設段階	
1 環境管理計画	

備考

注1: 評価結果の表示は①～②まで

注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。

注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。